

港湾・海岸事業事後評価について

計画5:「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[重点](地域活性化)

計画6:「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[通常](地域活性化)

計画7:「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現(防災・安全)

計画8:博多港海岸における総合的な津波・高潮・侵食対策の推進(防災・安全)

目次

資料3-1 事後評価シート

資料3-2 事後評価説明資料

令和2年12月

福岡市 港湾空港局
港湾計画部 計画課

計画⑤ 港湾事業

資料3-1

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金 事後評価シート

計画の名称	「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現〔重点〕（地域活性化）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○		
交付対象	福岡市											
計画の目標	九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化に大きく貢献する拠点港湾「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港を目指し、「国際物流」「観光・交流」及び「環境」の面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。 1. 九州・西日本の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化を図る国際物流拠点の形成。 2. 観光促進、日中韓交流を支える九州・アジアの海の玄関口の機能強化。 3. 自然と人が共生する港湾環境を創造する親水空間等の形成。											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,368 百万円	A	2,287 百万円	B	0 百万円	C	81 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	3.42%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	アイランドシティ地区の水深15m岸壁等と一体的に機能する臨港道路等の整備により、国際物流拠点の形成を進め、国際海上コンテナ取扱個数の増加を図る。 国際海上コンテナ取扱個数〔TEU〕	91万TEU	109万TEU	118万TEU
2	中央ふ頭地区の国際ターミナル機能の充実強化等により、観光・交流拠点の形成を進め、外国航路船舶乗降人員の増加を図る。 外国航路船舶乗降人員〔人〕	87万人	152万人	175万人
3	みどりの整備により、自然と人が共生する港湾空間「エコパークゾーン」の形成を進める（港湾緑地、アマモ場等）。 港湾緑地（アイランドシティ地区）の1日あたり利用者数〔人/12h〕	1,850人/12h	1,910人/12h	2,020人/12h

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況（○：計画期間中に完成 △：計画期間中に一部完成 -：その他（中止、未実施等））

【港湾事業】

A 基幹事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考
A02-001	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	アイランドシティ1号線 道路整備	延長 L=770m	博多港・アイランドシティ地区	○	
A02-002	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	アイランドシティ2号線 道路整備	延長 L=2,018m	博多港・アイランドシティ地区	○	
A02-003	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	アイランドシティ道路整備	延長 L=4,049m	博多港・アイランドシティ地区	○	
A02-004	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	アイランドシティ緑地整備	面積 A=18,000㎡	博多港・アイランドシティ地区	○	
A02-005	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	中央ふ頭1号線 道路整備	延長 L=70m, 交通広場整備	博多港・中央ふ頭地区	○	
A02-006	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	水質浄化	和北海浜（藻場）整備	面積 A=1,140㎡, モニタリング調査, 桟橋撤去	博多港・和白地区	○	
A02-007	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	中央ふ頭 緑地 整備	面積 A=3,360㎡	博多港・中央ふ頭地区	-	未実施
A02-008	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	中央ふ頭2号線 道路整備	延長 L=440m	博多港・中央ふ頭地区	-	未実施

B 関連社会資本整備事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考

C 効果促進事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考
C02-001	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	景観照明灯整備	基数 N=74基	博多港・中央ふ頭地区	-	未実施
	基幹事業（A02-005：中央ふ頭1号線 道路整備）と一体的に、景観照明灯整備を行うことにより、歩行者誘導の回遊性の確保を図る。											
C02-002	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	誘導・案内サイン整備	案内サイン N=12箇所	博多港・中央ふ頭地区	○	
	基幹事業（A02-005：中央ふ頭1号線 道路整備）と一体的に、誘導・案内サインを設置することにより、来訪者の利便性向上を図る。											

D 社会資本整備凹滑化地盤整備事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況					
		港湾施設の整備を実施することより、「国際物流」「観光・交流」及び「環境」の面において、港湾機能の充実・強化が図られた。			
II 定量的指標の達成状況		当初現況値	最終目標値	最終実績値	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因
指標① 国際海上コンテナ貨物取扱個数		91万TEU	118万TEU	96万TEU	アイランドシティコンテナターミナルの施設整備の遅れや経済情勢等、他の要因の影響もあり目標値の達成には至らなかったが、コンテナターミナルと背後地を結ぶ臨港道路の整備を進めた結果、取扱個数の着実な増加が図られた。
指標② 外国航路船舶乗降人員		87万人	175万人	161万人	H31年においては、日韓関係の影響等から、目標値に届かなかったが、H28～H30年において、外国航路船舶乗降人員が200万人前後となるなど、目標値を達成することができた。
指標③ 港湾緑地(アイランドシティ地区)の1日当たり利用者数		1,850人/12h	2,020人/12h	1,978人/12h	目標値の達成には至らなかったが、緑地の整備を進めることで、着実に緑地利用者の増加につながった。

3. 特記事項(今後の方針等)

博多港は、これまで市民生活や経済活動を支える基盤として重要な役割を果たしており、今後も、活力と存在感に満ちた日本の対アジア拠点港を目指していくため、引き続き、「国際物流」「観光・交流」及び「環境」の面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。

計画⑥ 港湾事業

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金 事後評価シート

計画の名称	「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現 [通常] (地域活性化)											
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	-
交付対象	福岡市											
計画の目標	九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化に大きく貢献する拠点港湾「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港を目指し、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	35 百万円	A	35 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.00%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)												
	定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値		
											当初現況値 (H26末)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	アイランドシティ地区の船だまりにおいて、港湾活動を円滑に維持していくために必要な小型船の係留可能隻数の増加を図る。 船だまりの係留可能隻数 (係留可能隻数 [隻]) = (評価時点の係留可能隻数 [隻] - 現況の係留可能隻数 [隻])										0隻	53隻	53隻

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間中に一部完成 -:その他(中止,未実施等))

【港湾事業】

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考
A02-001	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	アイランドシティ物揚場 整備	延長 L=370m	博多港・アイランドシティ地区	○	
A02-002	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	アイランドシティ船揚場 整備	延長 L=50m	博多港・アイランドシティ地区	○	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考

2. 事業効果の発現状況, 目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		港湾施設の整備を実施することより, 港湾機能の充実・強化が図られた。			
II 定量的指標の達成状況		当初現況値	最終目標値	最終実績値	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因
指標①(船だまりの係留可能隻数)		0隻	53隻	53隻	船だまりの整備を着実に進め, 目標値の係留可能隻数を確保することができた。
3. 特記事項(今後の方針等)					
次期計画なし。					

計画⑦ 港湾事業

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金 事後評価シート

計画の名称	「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現（防災・安全）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	-
交付対象	福岡市											
計画の目標	九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化に大きく貢献する拠点港湾「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港を目指し、港湾機能の確保に取り組んでいく。											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,798 百万円	A	4,672 百万円	B	0 百万円	C	126 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	2.62%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	港湾施設について、適切な整備・改良を行うことにより、博多港の防災機能の確保、利用者の利便性・安全性の向上、施設の延命化を図る。 港湾施設の整備・改良（箇所）	0箇所	20箇所	38箇所

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況（○：計画期間中に完了 △：計画期間中に一部完了 -：その他（中止、未実施等））

【港湾事業】												
A 基幹事業（1/2）												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考
A02-001	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	アイランドシティ 防波堤 整備	延長 L=100m	博多港・アイランドシティ地区	○	
A02-002	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	アイランドシティ 岸壁(-14.0m) 改良	延長 L=330m	博多港・アイランドシティ地区	○	
A02-003	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	香椎パークポート 岸壁(-13.0m) 改良	延長 L=300m	博多港・アイランドシティ地区	○	
A02-004	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	香椎パークポート 香B-2号線 道路改良	延長 L=814m	博多港・アイランドシティ地区	-	未実施
A02-005	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 箱A-7号線 道路改良	延長 L=430m	博多港・箱崎ふ頭地区	○	
A02-006	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 箱A-8号線 道路改良	延長 L=1,018m	博多港・箱崎ふ頭地区	-	未実施
A02-007	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 箱B-6号線 道路改良	延長 L=400m	博多港・箱崎ふ頭地区	○	
A02-008	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 箱B-9号線 道路改良	延長 L=140m	博多港・箱崎ふ頭地区	○	
A02-009	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 箱B-17号線 道路改良	延長 L=380m	博多港・箱崎ふ頭地区	○	
A02-010	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 箱B-20号線 道路改良	延長 L=250m	博多港・箱崎ふ頭地区	○	
A02-011	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 箱B-22号線 道路改良	延長 L=300m	博多港・箱崎ふ頭地区	○	
A02-012	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 道路改良	照明灯改良 基数 N=75基	博多港・箱崎ふ頭地区	○	
A02-013	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 岸壁(-12.0m) 改良	延長 L=294m	博多港・箱崎ふ頭地区	○	
A02-014	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	中央ふ頭 岸壁(-10.0m) 改良	延長 L=270m	博多港・中央ふ頭地区	-	未実施
A02-015	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	博多ふ頭 岸壁(-5.5m) 改良	延長 L=121m	博多港・博多ふ頭地区	○	
A02-016	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	博多ふ頭 博A-7号線外 道路改良	交差点改良 延長 L=220m	博多港・博多ふ頭地区	○	
A02-017	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	東浜ふ頭 東岸壁(-7.5m) 改良	延長 L=310m	博多港・東浜ふ頭地区	-	未実施
A02-018	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	東浜ふ頭 北岸壁(-7.5m) 改良	延長 L=390m	博多港・東浜ふ頭地区	△	一部完了
A02-019	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	東浜ふ頭 西岸壁(-5.5m) 改良	延長 L=360m	博多港・東浜ふ頭地区	-	未実施
A02-020	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	東浜ふ頭 東A-7号線 道路改良	延長 L=117m	博多港・東浜ふ頭地区	-	未実施
A02-021	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	須崎ふ頭 那A-4号線 道路改良	延長 L=1,568m	博多港・須崎ふ頭地区	-	未実施
A02-022	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	須崎ふ頭 那A-12号線 道路改良	延長 L=185m	博多港・須崎ふ頭地区	○	

A 基幹事業 (2/2)												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考
A02-023	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	須崎ふ頭 那B-15号線 道路改良	延長 L=150m	博多港・須崎ふ頭地区	○	
A02-024	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	須崎ふ頭 那の津南岸壁(-5.5m) 改良	延長 L=230m	博多港・須崎ふ頭地区	-	中止
A02-025	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	須崎ふ頭 西物揚場(-2.5m) 改良	延長 L=357m	博多港・須崎ふ頭地区	-	中止
A02-026	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	須崎ふ頭 西防波堤 改良	延長 L=1,274m	博多港・須崎ふ頭地区	-	未実施
A02-027	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	須崎ふ頭 道路改良	照明灯改良 基数 N=123基	博多港・須崎ふ頭地区	△	一部完了
A02-028	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	みなと大橋 改良	延長 L=251m	博多港・博多～須崎ふ頭地区	○	
A02-029	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	新千鳥橋 改良	延長 L=136m	博多港・東浜～中央ふ頭地区	-	未実施
A02-030	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	香椎アイランドブリッジ 改良	延長 L=240m	博多港・アイランドシティ～香椎パークポート地区	-	未実施
A02-031	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 箱B-4号線 道路改良	延長 L=1,500m	博多港・箱崎ふ頭地区	△	一部完了
A02-032	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	博多ふ頭浮棧橋 改良	付属施設 N=2箇所	博多港・博多ふ頭地区	○	
A02-033	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	西戸崎浮棧橋 改良	延長 L=25m	博多港・西戸崎地区	○	
A02-034	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	香椎かもめ大橋 改良	延長 L=789m	博多港・箱崎ふ頭～香椎パークポート地区	△	一部完了
A02-035	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	香椎パークポート 岸壁(-13.0m) 改良 (その2)	延長 L=300m	博多港・香椎パークポート地区	-	未実施
A02-036	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	東防波堤 改良	延長 L=48m	博多港・その他地区	-	未実施
A02-037	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	中央ふ頭1号線外 道路改良	交差点改良 延長 L=540m	博多港・中央ふ頭地区	○	
A02-038	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	中央ふ頭 岸壁 (-7.5m) 改良	延長 L=390m	博多港・中央ふ頭地区	-	未実施

B 関連社会資本整備事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考

C 効果促進事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考
C02-001	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	歩行空間整備	安全対策施設の整備	博多港・中央ふ頭地区	○	
基幹事業 (A02-014: 中央ふ頭 岸壁 (-10m) 改良) と一体的に整備を行うことにより、利用者の利便性・安全性の向上を図る。												

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考

2. 事業効果の発現状況, 目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況					港湾施設の整備を実施することにより、「防災・安全」の面において、港湾機能の確保ができた。			
II 定量的指標の達成状況					当初現況値	最終目標値	最終実績値	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因
指標①(港湾施設の整備・改良(箇所))					0箇所	38箇所	19箇所	目標値の達成には至らなかったが、限られた予算のなかで、緊急性や重要性を考慮した優先順位を踏まえ、着実に港湾施設の改良を行った結果、施設の安全な利用や延命化を図ることができた。

3. 特記事項(今後の方針等)

博多港は、これまでも市民生活や経済活動を支える基盤として重要な役割を果たしており、今後も、活力と存在感に満ちた日本の対アジア拠点港を目指していくため、引き続き、「防災・安全」の面において、港湾機能の確保に取り組んでいく。

計画⑧ 海岸事業

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金 事後評価シート

計画の名称	博多港海岸における総合的な津波・高潮・侵食対策の推進（防災・安全）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	-
交付対象	福岡市											
計画の目標	大規模地震に伴う津波、台風等に伴う高潮、海岸浸食に対して海岸保全施設の整備を行い人命・財産を防護する。											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	436 百万円	A	436 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.00%

番号	計画の成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H26末)	(H29末)	(H31末)
1	防護区域面積を0ha (H27)から62.3ha (H31)に増加させる。 防護区域面積 (ha)	0ha	1ha	62ha
2	海岸保全施設の長寿命化計画の策定済みの施設数を0施設 (H27)から、47施設 (H31)に増加させる。 長寿命化計画の策定 (施設)	0施設	23施設	47施設

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況（○:計画期間中に完了 △:計画期間中に一部完了 -:その他(中止,未実施等)）

【海岸事業】

A 基幹事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考
A09-001	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	耐震	-	博多港海岸 (西戸崎地区)	延長 L=108m	福岡市	○	
A09-002	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	高潮	-	博多港海岸 (能古(北浦)地区)	延長 L=284m	福岡市	○	
A09-003	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	老朽化	-	海岸施設長寿命化計画	47施設	福岡市	○	
A09-004	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	老朽化	-	博多港海岸 (和白地区)	延長 L=850m	福岡市	○	

B 関連社会資本整備事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考

C 効果促進事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考

D 社会資本整備凹滑化地籍整備事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考

2. 事業効果の発現状況, 目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		海岸保全施設の整備を行うことにより、津波や高潮等に対して、背後地を防護できる状態となり、人命・財産が守られた。			
II 定量的指標の達成状況		当初現況値	最終目標値	最終実績値	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因
指標①(防護区域面積(ha))		0ha	62ha	62ha	海岸保全施設の整備・改良を着実に進めることで、目標値の防護区域面積を確保することができた。
指標②(長寿命化計画の策定(施設))		0施設	47施設	47施設	計画的な海岸保全施設の調査・検討を行うことで、長寿命化計画策定施設数の目標値を達成することができた。
3. 特記事項(今後の方針等)					
策定した海岸保全施設の長寿命化計画に基づき、施設の改良等を適切に行うことで、大規模地震に伴う津波、台風等に伴う高潮に対して、人命・財産の防護に努める。					

社会資本総合整備計画事後評価説明資料

計画⑤

「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現【重点】(地域活性化)

計画⑥

「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現【通常】(地域活性化)

計画⑦

「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現(防災・安全)

計画⑧

博多港海岸における総合的な津波・高潮・侵食対策の推進(防災・安全)

計画の期間 H27～H31年度(5ヵ年)

令和2年12月

福岡市 港湾空港局 港湾計画部 計画課

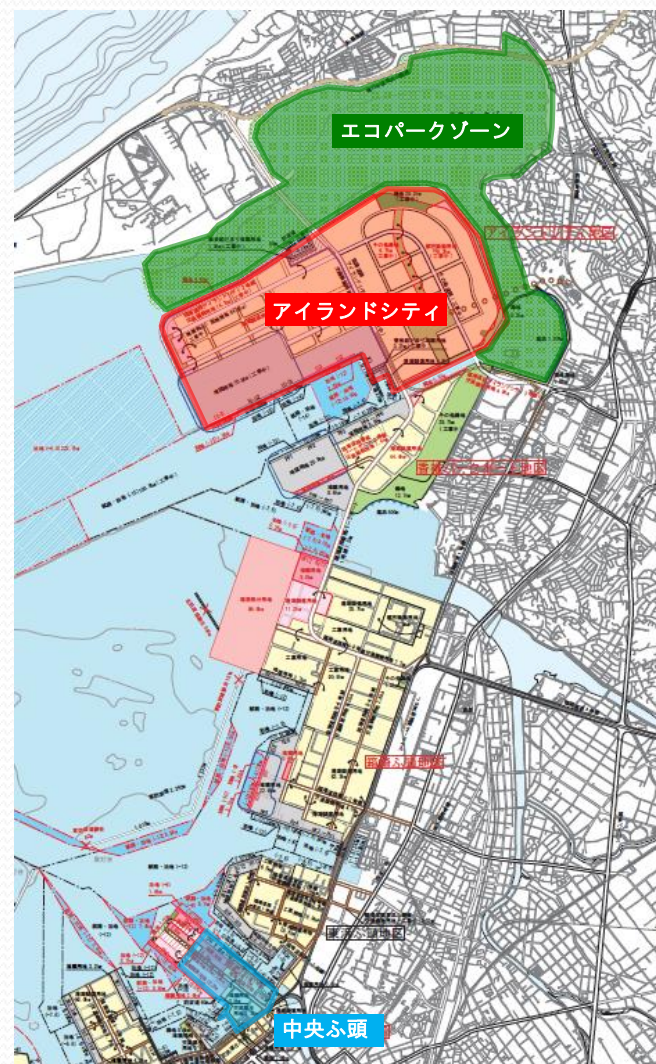
計画の目標

九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化に大きく貢献する拠点港湾「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港を目指し、「国際物流」「観光・交流」及び「環境」、さらには「防災・安全」などの面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。

1. 九州・西日本の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化を図る国際物流拠点の形成。
2. 観光促進, 日中韓交流を支える九州・アジアの海の玄関口の機能強化。
3. 自然と人が共生する港湾環境を創造する親水空間等の形成。

計画の成果目標(定量的指標)

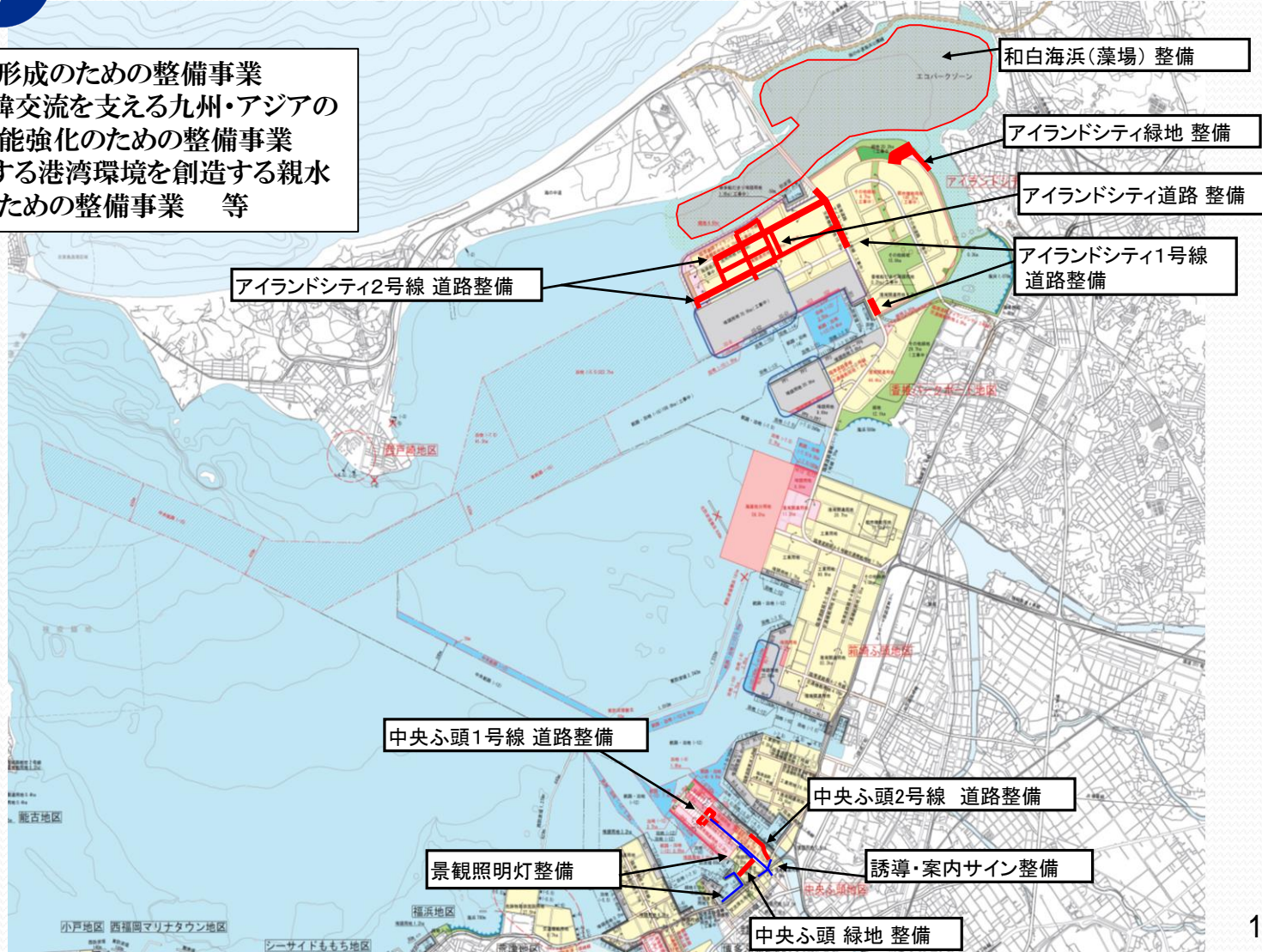
1. **アイランドシティ地区**の水深15m岸壁等と一体的に機能する臨港道路等の整備により, 国際物流拠点の形成を進め, 国際海上コンテナ取扱個数の増加を図る。
2. **中央ふ頭地区**の国際ターミナル機能の充実強化等により, 観光・交流拠点の形成を進め, 外国航路船舶乗降人員の増加を図る。
3. みどりの整備により, 自然と人が共生する港湾空間「**エコパークゾーン**」の形成を進めることにより, 緑地利用者の増加を図る。(港湾緑地, アマモ場等)
4. **アイランドシティ地区**の船だまりにおいて, 港湾活動を円滑に維持していくために必要な小型船の係留可能隻数の増加を図る。
5. 港湾施設について, 適切な整備・改良を行うことにより, 博多港の防災機能の確保, 利用者の利便性・安全性の向上, 施設の延命化を図る。



要素事業

計画⑤ 「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現【重点】(地域活性化)

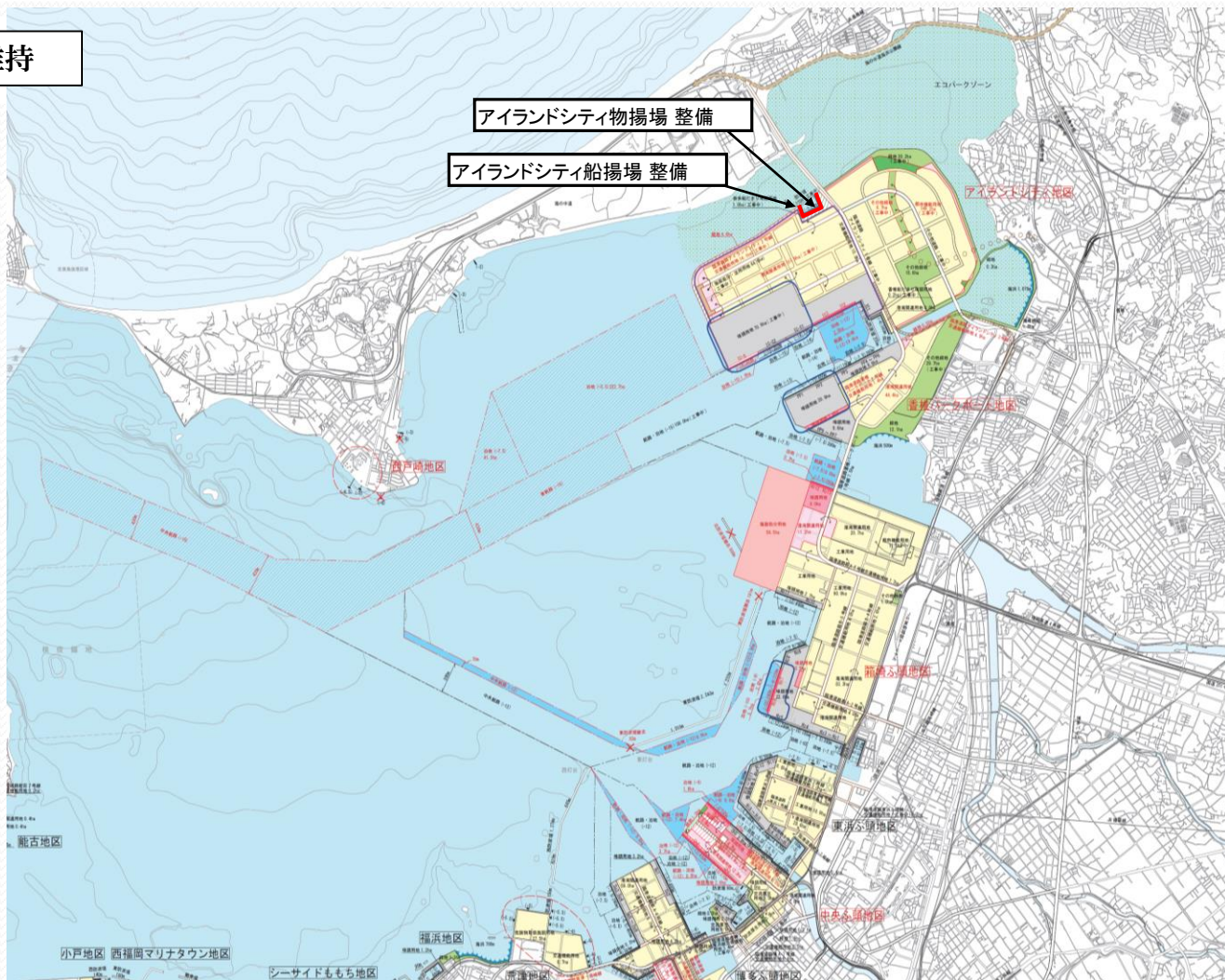
- 国際物流拠点の形成のための整備事業
- 観光促進, 日中韓交流を支える九州・アジアの海の玄関口の機能強化のための整備事業
- 自然と人が共生する港湾環境を創造する親水空間等の形成のための整備事業 等



要素事業

計画⑥ 「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現【通常】(地域活性化)

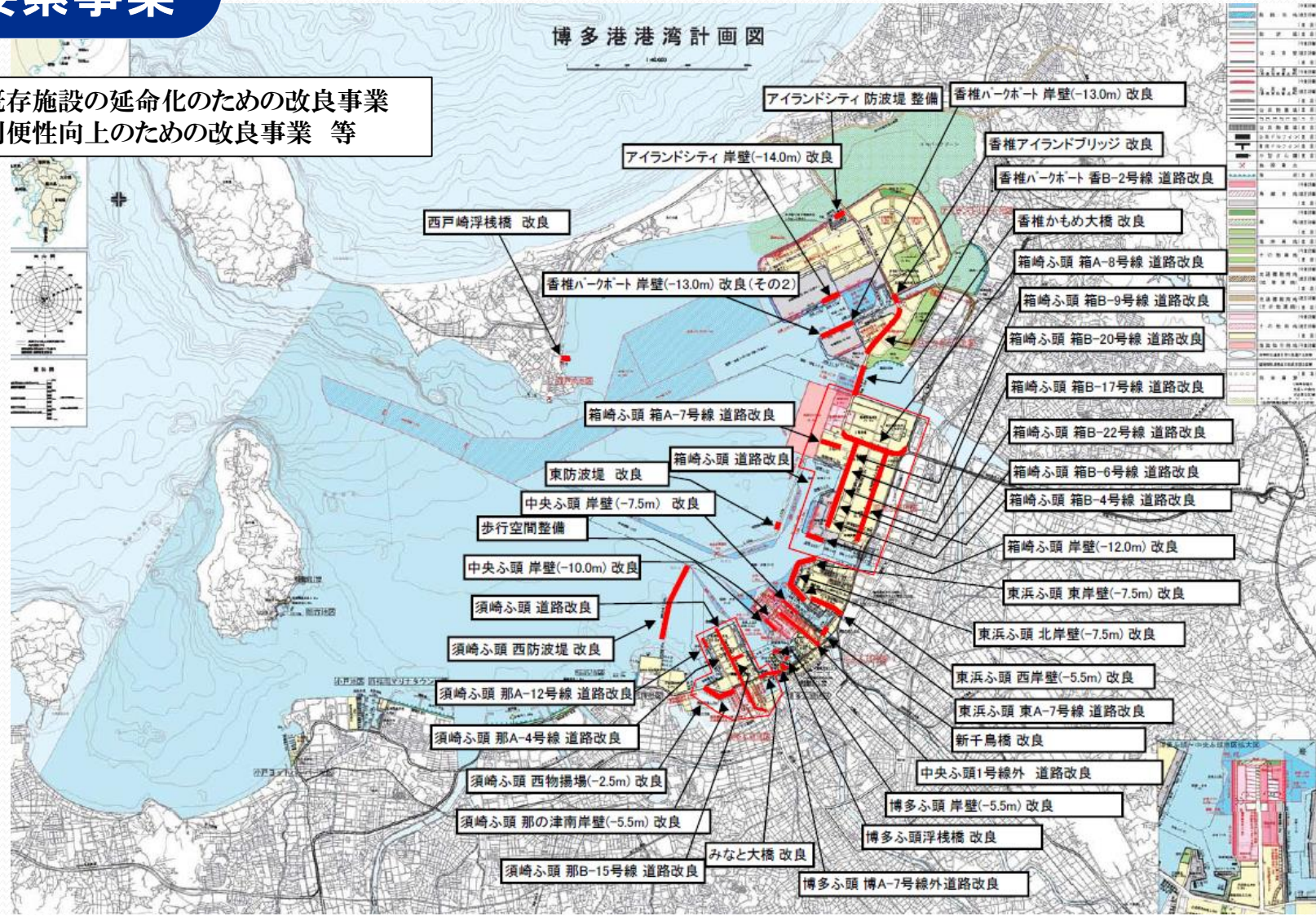
・港湾活動の円滑な維持



要素事業

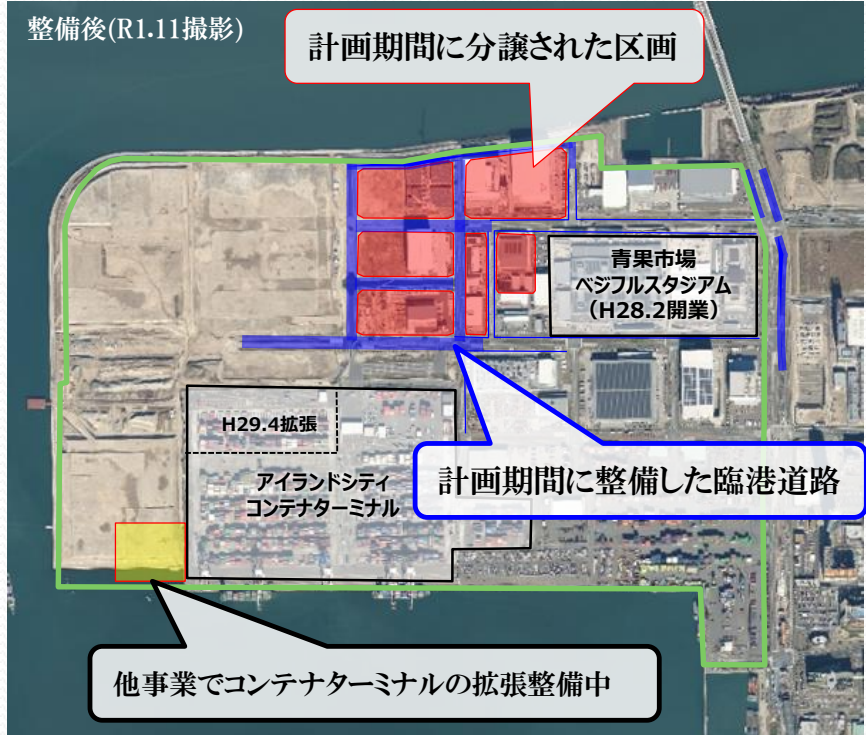
計画⑦ 「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現(防災・安全)

- ・既存施設の延命化のための改良事業
- ・利便性向上のための改良事業 等



地域活性化(国際物流)

アイランドシティみなとづくりエリアは国際物流拠点の形成を目指しており、臨港道路等の整備を行った結果、物流施設等の立地が促進され、港湾機能の強化につながった。

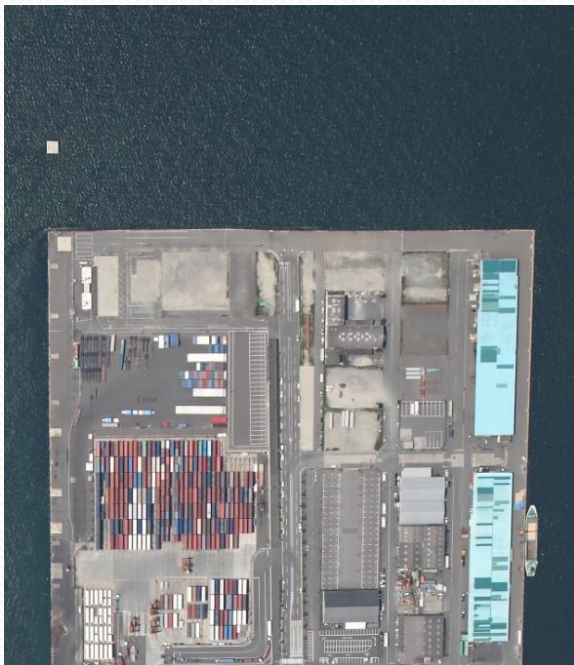


- 計画期間内に整備を行った臨港道路
- 計画期間内に分譲又は契約等を行った区画
- 臨海部物流拠点の形成を図る区域

地域活性化(観光・交流)

中央ふ頭地区において、アジアと我が国を結ぶ「海の観光・交流ゲートウェイ」の実現を目指し、クルーズ船対応の交通広場の整備等を行った結果、受入環境の充実・強化が図られた。

整備前(H26.3撮影)



整備後(R1.11撮影)



岸壁延伸
【H30年9月4日 全面供用開始】

○施設概要
延長：330m

屋根付き通路
【H31年2月 供用開始】

○施設概要
・可動式通路
延長：最大200m

歩行者シェルター
【H29年3月 供用開始】

○施設概要
・岸壁前シェルター(固定式)
延長：71m
※H28年3月完成
・可動式通路
延長：最大100m

クルーズセンター 【H27年5月 供用開始】

○施設概要
面積：約2,800㎡
入国審査：最大20ブース

交通広場
【H29年4月 全面供用開始】

○施設概要
面積：約13,200㎡

利便施設
【H30年3月 供用開始】

○施設概要
面積：約2,400㎡
導入機能：観光情報発信、物販、飲食等

※赤字：社会資本整備総合計画に基づき整備した施設

地域活性化(環境)

自然環境保全・創造に向けたアマモ場造成と共に親水性を持たせた緑地整備により、市民が豊かな自然にふれ、親しむことのできる水辺空間づくりができた。

○アマモ場造成



奈多小児童によるアマモ種子シートづくり



海底へのアマモ種子シート設置状況



アマモに産み付けられたイカの卵

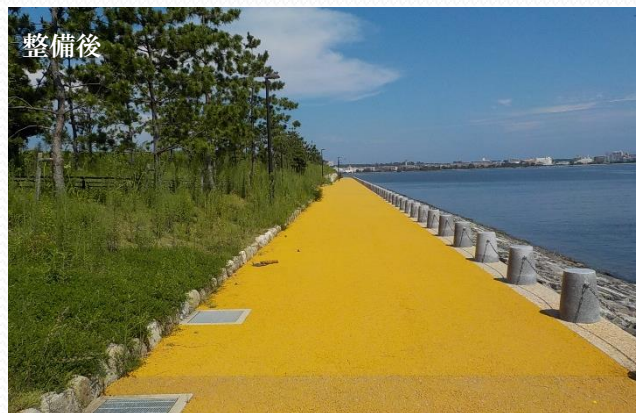


カミナリイカの仲間

○アイランドシティ緑地



整備前



整備後

防災・安全

多くの港湾施設が更新期を迎える中、安全で安心な港湾施設を維持するため、岸壁や臨港道路等の改良を行うことで、既存施設の延命化が図られた。

整備前



整備後



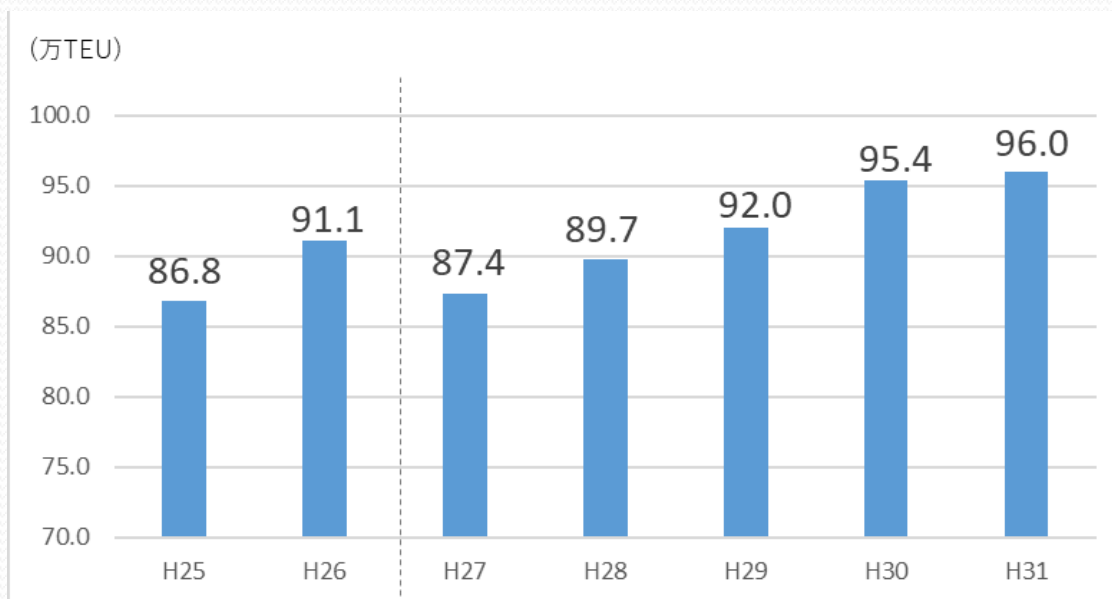
国際海上コンテナ貨物取扱個数

※TEU:20フィートコンテナを1単位として、貨物量を表す単位

当初現況値(H26)	最終目標値(H31)	最終実績値(H31)
91万TEU	118万TEU	96万TEU

アイランドシティコンテナターミナルの施設整備の遅れや経済情勢等,他の要因の影響もあり目標値の達成には至らなかったが,コンテナターミナルと背後地を結ぶ臨港道路の整備を進めた結果,取扱個数の着実な増加が図られた。

<国際海上コンテナ取扱個数の推移>

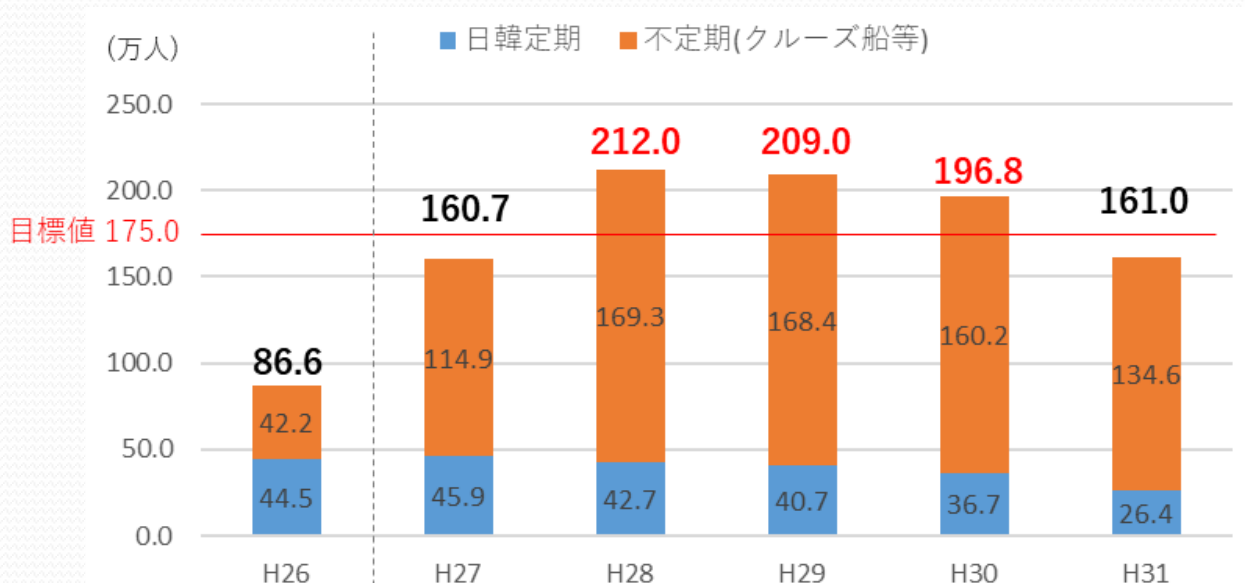


外国航路船舶乗降人員

当初現況値(H26)	最終目標値(H31)	最終実績値(H31)
87万人	175万人	161万人

H31年においては、日韓関係の影響等から、目標値に届かなかったが、H28～H30年において、外国航路船舶乗降人員が200万人前後となるなど、目標値を達成することができた。

<外国航路船舶乗降人員の推移>



港湾緑地(アイランドシティ地区)の1日あたり利用者数[人/12h]

当初現況値(H26)	最終目標値(H31)	最終実績値(H31)
1,850人/12h	2,020人/12h	1,978人/12h

目標値の達成には至らなかったが、緑地の整備を進めることで、着実に緑地利用者の増加につながった。

船だまりの係留可能隻数[隻]

当初現況値(H26)	最終目標値(H31)	最終実績値(H31)
0隻	53隻	53隻

船だまりの整備を着実に進め、目標値の係留可能隻数を確保することができた。

港湾施設の改良等により有効活用が図られた施設数

当初現況値(H26)	最終目標値(H31)	最終実績値(H31)
0施設	38施設	19施設

目標値の達成には至らなかったが、限られた予算のなかで、緊急性や重要性を考慮した優先順位を踏まえ、着実に港湾施設の改良を行った結果、施設の安全な利用や延命化を図ることができた。

地域活性化(国際物流)

国際物流拠点の形成を目指し、アイランドシティ内における物流施設等の立地の前提となる臨港道路の整備を、引き続き、進める必要がある。

地域活性化(観光・交流)

観光・交流については、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けているが、休止していた国内クルーズが、感染対策を徹底した上で、11月より再開される動きも出てくるなど、旅客船運航の状況が変化してきており、今後も観光・交流を取り巻く動向等を注視していく。

地域活性化(環境)

エコパークゾーンの整備について、緑地整備やアマモ場造成等を引き続き、進める必要がある。

防災・安全

港湾施設の改良について、限られた予算のなかでも優先順位を考慮しながら、引き続き、効率的に事業を進める必要がある。

博多港は、これまでも市民生活や経済活動を支える基盤として重要な役割を果たしており、今後も、活力と存在感に満ちた日本の対アジア拠点港を目指していくため、引き続き、「国際物流」「観光・交流」及び「環境」、さらには「防災・安全」の面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。

計画の目標

大規模地震による津波，台風等による高潮，海岸侵食に対して海岸保全施設の整備を行い人命・財産を防護する。

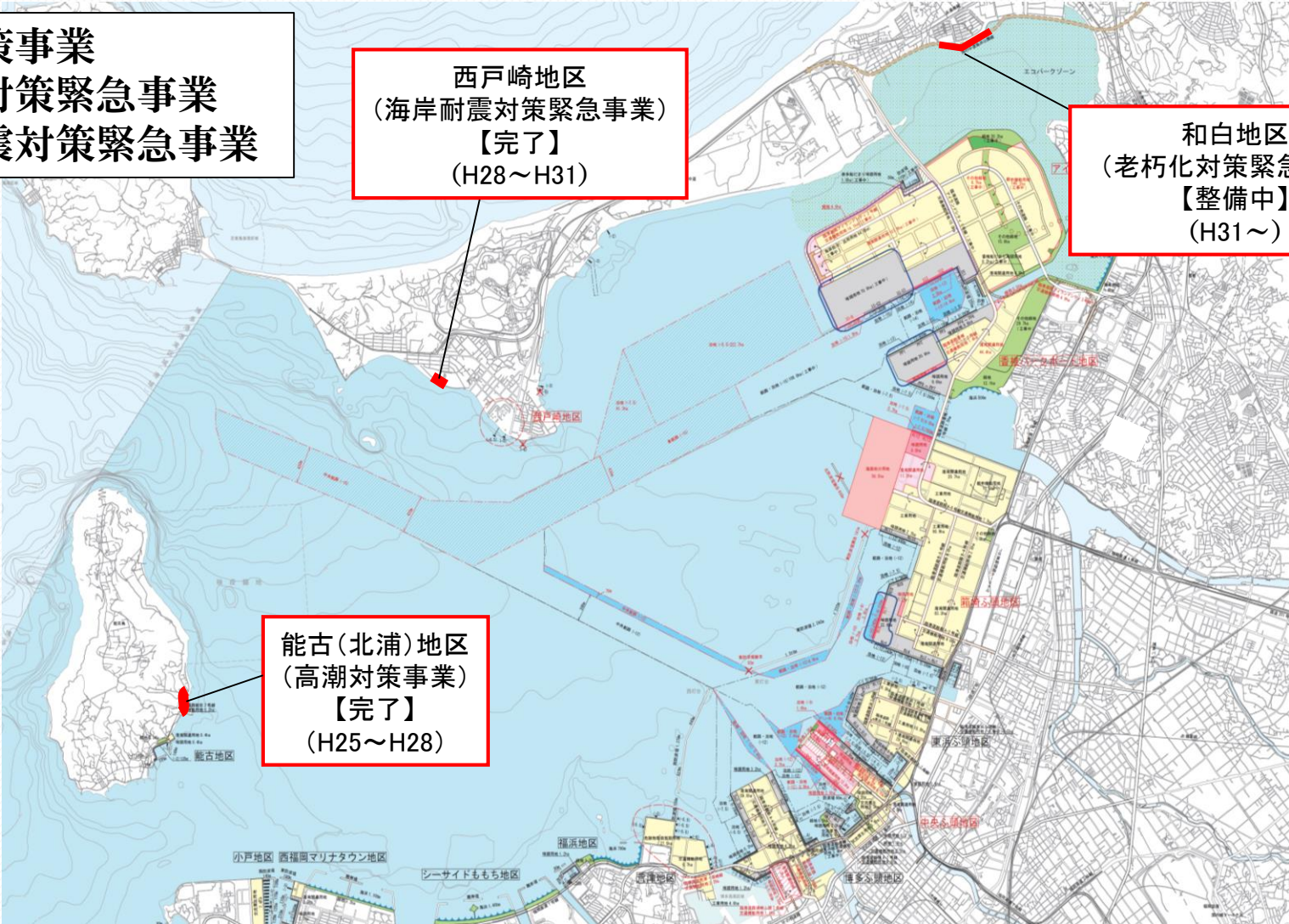
計画の成果目標(定量的指標)

1. 防護区域面積を0ha (H26)から62ha (H31)に増加させる。
2. 海岸保全施設の長寿命化計画策定済みの施設数を0施設 (H26)から，47施設 (H31)に増加させる。

要素事業

計画⑧ 博多港海岸における総合的な津波・高潮・侵食対策の推進(防災・安全)

- 高潮対策事業
- 老朽化対策緊急事業
- 海岸耐震対策緊急事業



高潮対策事業

能古地区北浦護岸では、護岸前面に設置している消波ブロックが劣化し、消波機能が著しく低下していることから、台風時等には、波が護岸背後の道路・家屋に打ち上げられる状況であったため、高潮対策として消波ブロックの再整備や、護岸改良を行うことで、背後地を高潮から防護できる環境となった。

整備前



整備後



海岸耐震対策緊急事業

西戸崎地区は、背後地にマンションなど人家が密集しているが、当該地区の護岸については、吸い出しによる護岸敷きの陥没やひび割れ等が多発している状況にあったため、護岸の構造体そのものの抜本的な改良を緊急的に行うことで、施設の耐震化を図るとともに、津波や高潮等に対して、背後の住宅地を防護できる状態となった。

整備前



整備後



防護区域面積

当初現況値(H26)	最終目標値(H31)	最終実績値(H31)
0ha	62ha	62ha

海岸保全施設の整備・改良を着実に進めることで、目標値の防護区域面積を確保することができた。

長寿命化計画策定施設数

当初現況値(H26)	最終目標値(H31)	最終実績値(H31)
0施設	47施設	47施設

計画的な海岸保全施設の調査・検討を行うことで、長寿命化計画策定施設数の目標値を達成することができた。

今後の課題

海岸保全施設の長寿命化計画に基づき、施設の予防保全対策を適切に行っていく必要がある。

今後の方針

策定した海岸保全施設の長寿命化計画に基づき、施設の改良等を適切に行うことで、大規模地震に伴う津波、台風等に伴う高潮に対して、人命・財産の防護に努める。